（C）日刊スポーツ新聞社

90年亜久里 04年琢磨 以来日本人3人目

小林可夢偉 表彰台

◇7日◇三重・鈴鹿サーキット◇1周5・807キロ

ザウバーの小林可夢偉（26）が初めて表彰台に上った。3番手スタートの小林は、レース開始直後に2位に浮上。再び3位に順位を落としたが、最後はマクラーレンのバトン（英国）の猛追をかわして、母国で自己最高の3位に。90年日本GPの鈴木亜久里、04年米国GPの佐藤琢磨に次ぐ、日本人3人目の表彰台となった。レッドブルのフェテル（ドイツ）がポール・ツー・ウインで2戦連続今季3勝目、通算24勝目をマーク。2位には2年ぶり表彰台となるフェラーリのマッサ（ブラジル）が入った。

（米家峰起通信員）

日本GP決勝

順位	車番	選手名	チーム	タイム	P
1	6	フェテル	レッドブル	1時間28分56秒242	190
2	6	マッサ	フェラーリ	＋20秒639	69
3	14	小林可夢偉	ザウバー	＋24秒538	50
4	3	バトン	マクラーレン	＋25秒098	131
5	4	ハミルトン	マクラーレン	＋46秒490	152
6	9	ライコネン	ロータス	＋50秒424	157
7	12	ヒュルケンベルク	フォースインディア	＋51秒159	37
8	18	マルドナド	ウィリアムズ	＋52秒364	33
9	2	ウェバー	レッドブル	＋54秒675	134
10	16	リチャルド	トロロッソ	＋1分6秒919	7
11	7	シューマッハー	メルセデス	＋1分7秒769	43
12	11	ディレスタ	フォースインディア	＋1分23秒460	44
13	17	ペルニュナ	トロロッソ	＋1分28秒645	8
14	19	セナ	ウィリアムズ	＋1分28秒709	25
15	20	コバライネン	ケータハム	1周遅れ	
16	24	グロック	マルシャ	1周遅れ	
17	21	ペトロフ	ケータハム	1周遅れ	
18	22	デラロサ	HRT	1周遅れ	
19	10	グロージャン	ロータス	2周遅れ	82
	25	ビック	マルシャ	38周目リタイア	
	23	カーティケヤン	HRT	33周目リタイア	
	15	ペレス	ザウバー	19周目リタイア	66
	5	アロンソ	フェラーリ	1周目リタイア	194
	8	ロズベルク	メルセデス	1周目リタイア	93

◆F1第15戦日本GP決勝成績◆P＝ドライバーポイント

「これは運命です」

鈴鹿サーキットに響き渡る「カムイ・コール」にうながされ、小林は表彰台に登場した。この日の主役は優勝したフェテルでも、2位マッサでもなく、まぎれもなく小林。表彰台へ上り、インタビュアー、ジャン・アレジ氏の質問に英語で答えた後、日本語で「みなさん、ありがとうございました！」と絶叫。すると地鳴りをともなった歓声が巻き起こった。9月に完成50年を迎えたサーキットの歴史に花を添える快挙を成し遂げた。

「自分でも驚きですが、多分これは運命です。ここまで何度もチャンスがありながら、不運でそれがつかめなくて。でもこのレースでは表彰台が取れる運命なんじゃないかって」。小林がそう話す3位は、精神力で勝ち取った。小林は日本GPでの日本人最高となる3番手からレースを開始。スタートダッシュに成功して、いきなり2位に躍り出た。しかし1回目のピットストップのタイム差で再び3位に順位を落とすと、後は長く、厳しい戦いが待っていた。

レース終盤は4位バトンに猛追された。着実にタイムを詰められ、最終53周目は、ピタリと背後につかれた。「ジェンソン（バトン）が速くて、抑えるのでいっぱい、いっぱいでした」。それでもわずかに0・5秒早くゴールイン。逆転は許さなかった。3位は日本GPでは90年の鈴木亜久里以来22年ぶり、F1全体では04年米国GPの佐藤琢磨に次ぐ快挙となった。

小林は今季ここまで、第10戦のドイツGPで自己最高の4位に入ったが、それ以外の13戦中8戦でポイント圏外。避けようのないクラッシュに巻き込まれるなど不運もあったが、チームの仕事ぶりに不満を示すことも多かった。

それでもこの日のレース後にはグルーにシャンパンをかけ、固く抱き合った。「今週、チームがしてくれた仕事は言葉に表せないくらい。展開が良ければ2位に入れたかも。良いポジションからスタートして、良いスタートを決められて、初めて表彰台を取れた。こういう展開が常に必要だと思います」。小林は感謝の気持ちを胸に、次戦韓国GP（14日決勝）での連続表彰台へ意気込んだ。

優勝で4点差 フェテル

○…優勝したフェテルも、小林の地元日本での初3位を祝福した。フェテルは表彰台で「おめでとうカムイ。F3で一緒に表彰台に乗っていた時代が懐かしいし、本当に特別な思いがあるよ」。これには小林も「そんなことを言ってくれるフェテルに感謝します」と笑顔を見せた。現在、年間ドライバーランキング2位のフェテルはこれでトップのアロンソに4点差に迫った。

猛追バトン0.5秒差振り切った「自分でも驚き」

快走する、小林のザウバーC31フェラーリ。後方はバトン

表彰台で、優勝したフェテル（中央）から祝福のシャンパンをかけられる小林。左は2位のマッサ

こばやし かむい 小林可夢偉

◆生まれ 1986年（昭61）9月13日、兵庫県尼崎市出身

◆経歴 9歳でカートを始め、01年にトヨタの育成プログラムTDP入り。欧州でユーロF3などに参戦。08年からトヨタの第3ドライバー。09年はGP2に参戦し、アジアシリーズで優勝。他のドライバーの負傷により、09年最終2戦でF1参戦機会を得て、最終戦で6位に入賞。トヨタの撤退で10年からザウバーに移籍

◆趣味 アウトドア全般、スキューバダイビング

◆熱愛 タレントあびる優との交際が伝えられている

◆お笑い 同じ尼崎出身のお笑いコンビ・ダウンタウンのファン。テレビ番組で共演したことも

◆サイズ 170㌢、63㌔

◆血液型 AB

小林に声援を送るあびる優

レイアウト山本選香